

# コロナ禍以降の個人の生活スタイルの変化に対応した、公共空間活用と民間組織によるネットワークの構築に関する研究 —岐阜県中津川・恵那地域の出店イベントを対象として—

A Study on the Utilization of Public Space and the Construction of Local Networks by the Private Sector in Response to Lifestyle Changes after the Covid-19 Pandemic  
- For Open-air Events in the Nakatsugawa and Ena Areas of Gifu Prefecture -

○三好沙季\*1, 松家雅大\*1, 真野洋介\*2

MIYOSHI Saki, MATSUKA Masahiro, MANO Yosuke

In the area of public space, it is expected that the private sector will participate in the utilization and of public space to create a lively atmosphere within the community and encouraging people to use public space daily. The study focuses on realizing relationship between private-sector entities in the Nakatsugawa and Ena regions in the use of public space and clarifying the mutual influence between the local network established through the daily activities of private-sector entities, and open-air events. The results of the interview survey revealed that there are relationships built through participation in events, which influence each business's activities and the relationships established in the daily activities of each business and originally existed due to geographical ties and alumni influence the occurrence of small-scale, private-sector-led events.

キーワード：公共空間，民間組織，市民活動，ネットワーク

*Keywords: Public Space, Private Sector, Civil Activity, Network*

## 1. はじめに

### 1. 1 研究の背景と目的

近年、地域のまちづくりの担い手として民間組織の果たす役割が大きくなっている。公共空間においても、自治体の活用及び運営に留まらず民間組織による参入を図ることで、人々の日常的な公共空間利用や地域内のにぎわいを創出することが期待されている。その取組みの一環として、将来的な空間整備や制度認定等を目指し、期間限定の公共空間活用により課題を検討する「社会実験」が行われている。実際に、行政主導により限定的な期間で行われる社会実験では、多様な活用組織が参入し、公共空間の使い方の一例を示している。このように行政が民間組織と連携することで、公共空間の活用可能性を見出すイベントがある一方で、民間組織同士の有志で実施する、出店を中心としたイベントも近年増えてきている。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、屋内施設イベントの中止や規模縮小、店舗や個人事業の経営形態や運営方法の転換が行われている。その中で、公共空間

を活用した出店イベントは、事業者にとって新規顧客獲得の可能性を持つことから、既存の枠組みにとらわれないう新たな販売方法として注目度や重要性が高まっている。

しかし、これらの出店イベントにおいて見られる民間組織の活動は一面的なものであり、継続的に公共空間の利活用を実現する上では、組織同士の日常的な活動実態や関係性を把握することが重要である。

そこで本研究では、公共空間活用における、民間組織や個人の間に広がる関係性を把握し、日常的な活動から構築されるネットワークと、公共空間活用の相互影響を明らかにすることを目的とする。また、出店イベントと、個人の生活スタイルや店舗経営形態の変化の相互影響を明らかにする。

### 1. 2 対象地域の選定

本研究では、複数の大都市によって構成されている首都圏、関西圏に対して、一つの都市（名古屋市）の求心力が強いという点で、人口減少時代のコンパクト都市圏モデルを検討するのにふさわしいとされる中京圏に着目

\*1 東京工業大学環境・社会理工学院、修士課程

\*2 東京工業大学環境・社会理工学院、准教授、博士（工学）

Graduate Student, School of Environment and Society, Tokyo Institute of Technology  
Assoc. Professor, School of Environment and Society, Tokyo Institute of Technology, Dr.Eng.

する<sup>1)</sup>。特に地方都市においては、人口減少や若年層の流出、中心市街地の機能衰退といった課題から公共空間活用に向けた動きは限定的であり、中京圏の地方都市を事例にした研究の意義は大きいと考える。

中京圏の地方都市の中でも、岐阜県の東濃地域の東側に位置する中津川市及び恵那市は交通の要衝としての役割を果たしていること、歴史的・文化的資源が豊富であること等<sup>2)</sup>から、大都市圏近郊の地方都市としての活力を再生する可能性を有しているものの、公共空間活用に対する支援事業等は積極的に行われていなかった。しかし、2020年のコロナ禍以降、行政と民間組織が連携して公共空間の利活用を推進していく潮流がみられる<sup>3)</sup>。以上より、本研究ではコロナ禍以降の公共空間活用と民間組織によるネットワークに着目する上で中津川市及び恵那市を対象とする。

1. 3 研究対象地域の概要

中津川市においては中心市街地活性化計画<sup>2)</sup>に基づく中心市街地が、恵那市においては都市計画マスタープラン<sup>4)</sup>に基づく市街地ゾーンが、それぞれ図1に示すように定められている。

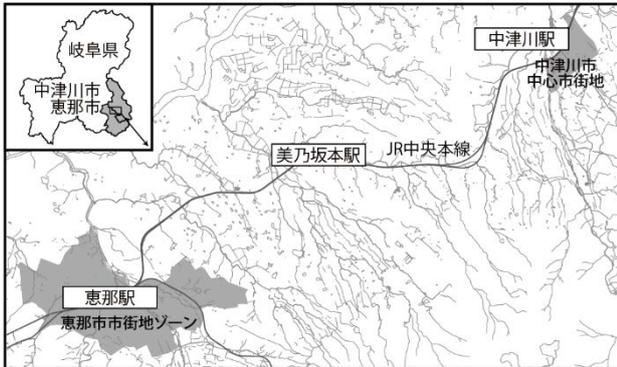


図1 中津川・恵那地域の概要

表1 用語の定義

出店イベント	公共空間等の空間にて実施される出店を中心としたイベント。
個人	対象地域に暮らす一住民。
組織	個人によって構成される目的を持って活動する団体。
民間組織	行政を除く組織。
事業者	飲食販売・物品販売・作品展示・ワークショップ等を目的として出店イベントに参加する民間組織または個人。
運営者	企画・運営等を目的として出店イベントに関わる民間組織または個人。
関係性	一組織と一組織、一組織と一個人、一個人と一個人、のつながり。
ネットワーク	関係性の集合体。

1. 4 研究の方法と調査概要

本研究では、2021年10月に岐阜県中津川市で実施された公共空間活用の社会実験プロジェクト「MOTTO×JIMOTO もっとなかつがわ！」(以下MOTTO×JIMOTOと省略する)に参加した民間組織を中心にアンケート調査及び

ヒアリング調査を実施した。その後MOTTO×JIMOTOでヒアリング調査の協力が得られた事業者が出店している、中津川市及び恵那市の複数の出店イベントに対して、関係組織へのヒアリング調査を含む追跡調査を2022年3月から6月にかけて実施した。これらの行政及び民間組織双方に対するヒアリング調査から出店イベントの位置づけ等を明らかにし、中津川・恵那地域の各出店イベントと各民間組織の相互関係の図式化を行った。

1. 5 既往研究と本研究の位置づけ

多主体の連携による公共空間の利活用と維持管理を対象とした研究としては、東京都「しゃれ街条例」に着目した上で「民有地の公共空間」における活用マネジメントの特徴と課題の抽出を行ったもの<sup>5)</sup>、エリアマネジメント組織が抱える課題とエリアマネジメント団体の属性の相関を考察したもの<sup>6)</sup>等が存在する。また、公共空間における社会実験を対象とし関係主体に着目した研究としては「神田警察通り賑わい社会実験2017」を対象とし、参加型社会実験のプロセスとその効果、留意点を明らかにしたもの<sup>7)</sup>、広島市京橋川オープンカフェの河岸緑地及び民間敷地において、過去の社会実験と利用実態の比較から利用者、事業者、管理者の評価を明らかにしたもの<sup>8)</sup>等が存在する。しかし、公共空間の恒常的な利用をマネジメントや運営スキームだけではなく、活用者同士のネットワークやライフスタイルまで踏み込んで考察している研究は少ない。本研究は、公共空間を利用した出店イベントと民間組織のネットワーク、さらには個人のライフスタイルとの相互影響を考察する点で独自性を持つものとする。

2. 出店イベントと関係組織の概要

2. 1 対象とする関係組織の概要

社会実験MOTTO×JIMOTOへの出店者の一覧と、追跡調査を踏まえて、分析対象として抽出した関係組織の一覧を表2に示す。抽出した関係組織は菓子や食品販売等の飲食事業者、雑貨販売等の物販事業者、農作物等の販売事業者、体験やワークショップ等のパフォーマー・クリエイターに大別できる。

ヒアリング調査を実施した民間組織の主な調査結果概要を表3に示す。ここでは、日常の活動や経営の中で関係性のある民間組織、出店イベントについて整理した。さらに、コロナ禍における生活及び活動への影響等についての把握を行った。

2. 2 関係組織から派生する出店イベントの概要

表 2 出店イベントの主な関係組織及びその他組織の一覧

分類	関係組織	対象とする関係組織 ヒアリング調査	運営 形態	発足 年次	各組織の概要
MOTTO×JIMOTOの出店者	kael かえる	●	個人	-	画家 イラストレーター デザイナー
	アトリエビボ	●	個人	-	画家 子ども絵画教室主宰
	ダンサー Tomo	●	個人	-	パフォーマンス ダンス・バレエ体験WS
	Koike lab.	●	個人	2014	農業 芋農家 百年以上続く農家を継業
	恵那山麓野菜	●	共同	2021	農業 若手農家を中心とした野菜販売の枠組
	オヤツヤヌフ	●	個人	2016	菓子 オーガニックやヴィーガンの菓子製造
	van cafe	●	個人	2017	菓子 カフェ ケーキや焼き菓子の製造
	とりやす	●	個人	2011	飲食 焼き鳥専門店
	FREELY	●	個人	2017	雑貨 廃アニメを使ったカバン制作
	虎太 cafe	●	個人	2020	菓子 カフェ キッチンカーによる移動販売
	eresia	●	個人	2021	飲食 レストラン 地産地消の料理
	hey's Latin Italia	●	個人	2020	飲食 レストラン メキシコ・イタリアの料理
	tass flower	●	個人	2020	雑貨 フリザーブドフラワーの加工制作
	whiffu-can	●	個人	2017	雑貨 キャンドルの制作
	もりのいえ	●	個人	2013	飲食 地元野菜の調味料や弁当の製造販売
	Cafe de 心粋	●	個人	2014	飲食 カフェ ペーグルやスイーツの製造
	ちこり村	●	法人	2006	飲食 食の体験施設の運営
	The Glamping BBQ	●	法人	2021	飲食・貸出 グランピングに関するサービス
	koike drums	●	個人	2016	雑貨 ドラムの制作展示販売
	koike blooms	●	法人	2020	雑貨 ウッドフラワーアーティスト
	holidaypark roastworks	●	個人	2019	飲食 カフェ&コワーキングスペース
	こはん cafe ぼんど	●	個人	2014	飲食 レストラン経営
	Tehú s	●	個人	2020	飲食 カフェ
	山のハム工房ーバル	●	個人	1980	飲食 肉の加工ソーセージ等の販売
	スペース絲	●	個人	-	古いタロットカード
	Doshio	●	個人	-	パフォーマンス ピアノ演奏
	BEAT mirai	●	共同	-	体験 サッカー教室
Quabala Quabala	●	個人	-	画家 アートユニット	
Rudeboy Blacksmith	●	個人	-	展示 馬籠のギャラリー	
one's create	●	個人	-	映像 写真 ドローン空撮 動画の撮影編集	
フカミファーム	●	個人	2017	農業 いちご農家 新規就農	
なかがき農園	●	個人	2017	農業 トマト農家 新規就農	
831 企画	●	共同	2020	農業 若手農家による企画チーム	
小いた園	●	個人	1956	農業 菌味しいたげ	
さとほち	●	個人	2020	農業・養蜂業 里山の保全を目指すNPO法人	
茶蔵園	●	個人	2018	農業 白川茶の製造販売流通	
かめや菓子舗	●	個人	1911	菓子 カステラを中心とした和洋菓子店	
saisacinnamon	●	個人	2003	飲食 パンとピザの販売	
美容室 Nympha (一社) きのねこ	●	個人	2009	中津川及び恵那の美容室	
(株) ハラカラ	●	個人	2021	まちづくりイベントの企画運営	
プランニングオフィスAFFEST (一社) シバスクラム恵那 (同) MuCHuu	●	個人	2021	イベント企画やアウトドアサービスを展開	
	●	個人	2019	イベントの企画運営 地域連携	
	●	個人	2020	地域商社+観光 DMO	
	●	個人	2017	宿泊施設の運営	

中津川・恵那地域の出店イベントのうち 2 回以上の継続的な開催が確認されるものの一覧を表 4 に示す。この中から、民間主導の出店イベントに対して、選定した事

業者の出店状況を表 5 にとりまとめた。

地域で開催されている出店イベントは主に行政や観光協会等の公共主導のものと、それ以外の民間主導のものに分類できる。公共主導の出店イベントは 2000 年代から 2010 年代前半に多く開始されているのに対し、民間主導の出店イベントは 2010 年代後半から 2020 年代にかけて多く開始されていることが分かる。

### 3. 民間組織と出店イベントの相互関係の時系列変化

中津川・恵那地域の民間組織と出店イベントの相互関係について、その時系列変化をまとめたものを図 2 に示す。出店イベントに関し、民間主導のものは、ヒアリング調査の内容から選定を行った。公共主導のものは、中津川市・恵那市の市街地エリアでの開催であること、日常的な民間組織の活動や運営に着目するため 1 年に 2 回以上の開催頻度であること、の 2 点より選定を行った。前述した事業者の出店実態を把握しながら日常的な活動との相互関係を分析する。

出店イベントの時系列における変化を見ると、公共主導かつ長期に続いてきたイベントが、コロナ禍の影響を大きく受け中止や延期となっている。一度再開された場合も状況に応じて再中止や再再開の対応がとられている。一方で、民間主導の出店イベントに関しては、コロナ禍となった 2020 年以降活発化している。

この結果から、日常の生活が大きく変化し、販売する

表 3 ヒアリング調査の結果概要

ヒアリングを行った組織	ヒアリング日時・場所	ヒアリング調査で名前が挙がった関係組織	出店動機・コロナ禍の影響・活動履歴など特筆事項
kael かえる	2021/10/24 MOTTO×JIMOTO	S.W. 氏、(同) MuCHuu	屋外のイベントへの出展自体が初めて。
Koike lab.	2022/3/18 たべとるマルシェ	S.W. 氏、K.K. 氏、さとほち、とりやす	2021 年の Aeru Market 立ち上げに携わる。MOTTO×JIMOTO であった四事業者を Aeru Market に招待する。
オヤツヤヌフ Y.H. 氏	2022/3/18 たべとるマルシェ	S.W. 氏、van cafe、FREELY、とりやす、tass flower、フカミファーム、831 企画	2020 年より高校の後輩 van cafe とマーケット開催。事業者のつながりによって地元食材を使った商品を作るように。
van cafe	2022/6/25 van とヌフのツキイチmarket	S.W. 氏、オヤツヤヌフ	出店とコロナ禍の影響で閉業に至る。2020 年にオヤツヤヌフとマーケット開催。2022 年より店舗営業再開。
虎太 cafe	2022/5/7 Aeru マーケット	S.W. 氏、(株) ハラカラ	元介護職員で、コロナ禍の影響によりキッチンカーによる副業を開始する。初出店が 2020 年 12 月 12 日。実店舗なし。将来実店舗を持つことを見据え、顧客拡大のためマルシェでの販売・委託・DM からの注文を中心に活動。
tass flower	2021/10/24 MOTTO×JIMOTO	S.W. 氏、オヤツヤヌフ (S.W. 氏の発言より)	副業としての活動。委託販売がほとんど。FREELY マルシェなどにも出店。
whiffu-can	2021/10/24 MOTTO×JIMOTO	FREELY	2021 年から落合にカフェの拠点を移しながらマルシェなどへの出店を行う。
もりのいえ	2022/3/18 たべとるマルシェ	S.W. 氏、Koike lab.	2020 年の 12 月にマルシェ初出店。恵那農業高校の授業の一貫として活動しており、自身も卒業生。
さとほち	2022/3/18 たべとるマルシェ	恵那市役所、Koike lab. (ハラカラ K.K. 氏の発言より)	コロナ禍での外国人観光客の減少が売り上げに影響し、マルシェに出店を始める。SNS やオンラインと併用しながらマルシェにも出している。声かけしてもらって出店することが多い。
かめや菓子舗	2022/5/7 Aeru マーケット	(株) ハラカラ	※(株) ハラカラと同一
The Glamping BBQ	2021/10/24 MOTTO×JIMOTO	※(株) ハラカラと同一	※(株) ハラカラと同一
koike drums	2021/10/24 MOTTO×JIMOTO	S.W. 氏、van cafe (オヤツヤヌフ Y.H. 氏の発言より)	自分の商品をもっと多くの人に知ってもらいたいという思いで出店。店舗やネット販売はなく、受注生産・イベント参加が主。夫の出身地である中津川に移住。2018 年にカフェオープン。
holidaypark roastworks	2022/5/8 店舗にて	S.W. 氏、831 企画、フカミファーム、もりのいえ、Koike lab.、saisacinnamon	コロナ禍で、飲食店紹介サイトの作成・運営を S.W. 氏と行う。
美容室 Nympha S.W. 氏 (一社) きのねこ	2022/3/18 店舗にて 2022/5/6 中津川市内にて	オヤツヤヌフ、Koike lab.、Koike blooms、K.K. 氏、one's create (MuCHuu I.T. 氏の発言より)、holidaypark roastworks、kael かえる、hey's Latin Italia	2016 年ごろからまちづくりの活動を行う。本業である美容院経営を通じて出来た人脈をまちづくりの活動にも活かす。
(株) ハラカラ K.K. 氏 プランニングオフィスAFFEST	2022/5/6 中津川市内にて 2022/6/25 中津川市内にて	S.W. 氏、Koike lab.、小いた園	(共同代表 K.K. 氏) 元旅行代理店勤務。2015 年に Uターンし恵那川上原に勤め、当時の同僚である H.K. 氏と 2021 年に起業。運営に携わった「恵那県レイクサイドマルシェ」はコロナ禍以降未開催。2019 年頃より企画構想段階から Aeru に携わる。
(同) MuCHuu I.T. 氏	2022/4/25 東京都内にて 2022/5/6 The RYOKAN Oにて	S.W. 氏、(株) ハラカラ、hey's Latin Italia、eresia、kael かえる、茶蔵園	外国人観光客をターゲットに宿泊施設をオープンさせる予定であったが、コロナ禍により国内客にターゲットを変更。高校時代の同級生 2 人によって構成される。

表 4 中津川・恵那地域の出店イベント一覧

分類	出店イベント	選定事業者出店状況 ヒアリングの実施	開始 年次	開催組織・主催	開催場所	開催時期・頻度	備考
公共 中津川での出店イベント	つげち全国レディースクラフトフェア		1993	つげち全国レディース・クラフトフェア実行委員会	道の駅花街道つげち	秋の年1回	
	菓子まつり		1996	中津川ふるさとじまん祭実行委員会	東美濃ふれあいセンター	秋の年1回	構成:中津川市、観光協会等
	ふるさとじまん祭		2006	中津川ふるさとじまん祭実行委員会	東美濃ふれあいセンター	秋の年1回	構成:中津川市、観光協会等
	六斎市	●	2008	中津川市六斎市実行委員会	本町・新町通り	毎月第1日曜日	2008に140年ぶりに定期開催へ
	中山道まつり	●	2008	中山道中津川宿六斎市実行委員会	本町・新町通り	5・11月の第1日曜日	六斎市と同時開催
	三宿街道祭り		2013	中山道中津川三宿街道祭り実行委員会	島田公園、落合宿本陣周辺、中津川市中心市街地	秋の年1回	二つの宿を会場に開催
	中津川ファーマーズマーケット	●	2010	中津川市農業振興課	にぎわい広場	4-12月の第3土曜日	
	中津川まちなかマルシェ	●	2021	(一社)中津川観光協会	西太田町内伝馬町	7月の第1日曜日	六斎市と同時開催
	MOTTO×JIMOTO	●	2021	中津川市都市建築課	都市緑地公園・にぎわい広場	2021-23の3年間	社会実験
	つげち森林の市	●	1990	つげち森林の市実行委員会	道の駅花街道つげち	毎年5月GW	
	ひがしみの農業祭	●	2005	ひがしみの農業祭実行委員会	東美濃ふれあいセンター	毎年11月	共催:中津川市、恵那市等
	中津川クラフトフェア	●	2010	中津川 made	にぎわいプラザ、パルティールAI	不定期、年に1-2回	
	付知GINZAマルシェ	●	2014	付知GINZA会	付知GINZA通り、JAひがしみの付知支店	春秋の年2回	
	ちいさなマルシェ	●	2017	オレンジスイート	飼育設備燃料内オレンジスイート	春秋の年2回	
	民間 恵那での出店イベント	SOYマルシェ	●	2020	豆乃匠 中島豆腐	豆乃匠 中島豆腐	不定期、年に1-3回
Nympha前マルシェ		●	2020	美容室 Nympha	美容室 Nympha 前	毎月第2土曜日	
森のひっそりマルシェ		●	2020	事業者 10-15 組	Hairs UGLY	不定期、年に3-4回	
vanとヌフのツキイチ market		●	2021	van cafe、オヤツヤヌフ	van cafe	毎月第4土曜日	
The RYOKAN O 開放日		●	2021	The RYOKAN O	The RYOKAN O	不定期	
斯捨離マーケット		●	2021	saisaicinnamon	saisaicinnamon、The Ryokan O、holidaypark	不定期、年に1-2回	
いわむら城下町のひなまつり		●	2003	いわむら城下町のひなまつり賑わい構想委員会	岩村町本通り	春の年1回	共催:商工会、観光協会等
恵那まちなか市		●	2010	恵那まちなか市実行委員会	恵那駅前周辺エリア	春夏秋冬の年4回	構成:恵那市、商工会、観光協会等
ひなのクラフトフェア		●	2013	(一社) 恵那市観光協会岩村支部	岩村町本通り	春の年1回	
えなマルシェ		●	2015	(一社) 恵那市観光協会	恵那峡さざなみ公園、恵那峡ビクターセンター	春秋の年2回	恵那峡まつりと同時開催
たべとるマルシェ		●	2018	恵那NEWFARMERS交流会議(恵那市役所農政課)	恵那中央図書館前	毎月第3土曜日	
銀の森パラソルマーケット		●	2015	恵那銀の森	恵那銀の森	不定期	
スプリングマルシェ		●	2016	恵那銀の森	恵那銀の森	春の年1回	パラソルマーケットと同時開催
図書館マルシェ		●	2017	恵那市中央図書館	恵那市中央図書館	春秋の年2回	
ふくろうまつり		●	2018	城下町ホットいわむら	岩村町本通り	不定期	
恵那峡レイクサイドマルシェ	●	2019	恵那峡レイクサイドマルシェ実行委員会	恵那峡さざなみ公園	春の年1回		
あつまるしえ	●	2020	パロー・マックス株式会社	パロー・恵那、ルビットタウン中津川	毎月		
NANAIRO MARKET	●	2020	エナクラ実行委員会(事業者7組)	Agent AXIS	不定期、年に1-3回		
大井町マルシェ	●	2021	事業者有志	中山道大井町広場	不定期		
エナクラマーケット	●	2021	エナクラ実行委員会(事業者7組)	中津川市福岡区民会館	不定期、年に1-2回		
Aeru Market	●	2021	ジバスクラム恵那	恵那峡さざなみ公園、恵那市中央図書館	毎月第1土曜日	Aeru SHOPと連動	

表 5 関係組織の出店しているイベント一覧

関係組織	出店イベント一覧
kael かえる	MOTTO×JIMOTO
Koike lab.	MOTTO×JIMOTO、たべとるマルシェ、Nympha前マルシェ、あつまるしえ、Aeru Market、えなマルシェ、恵那峡レイクサイドマルシェ、森のひっそりマルシェ
恵那山麓野菜	MOTTO×JIMOTO、Aeru Market、えなマルシェ
オヤツヤヌフ	MOTTO×JIMOTO、ちいさなマルシェ、森のひっそりマルシェ、Nympha前マルシェ、NANAIRO MARKET、斯捨離マーケット、SOYマルシェ、vanとヌフのツキイチ market、あつまるしえ、Aeru Market、たべとるマルシェ、恵那峡レイクサイドマルシェ
van cafe	MOTTO×JIMOTO、vanとヌフのツキイチ market、斯捨離マーケット
とりやす	MOTTO×JIMOTO、Nympha前マルシェ
FREELY	MOTTO×JIMOTO、NANAIRO MARKET、エナクラマーケット、森のひっそりマルシェ
虎太 cafe	MOTTO×JIMOTO、Aeru Market、えなマルシェ
eresia	MOTTO×JIMOTO
hey's Latin Italia	MOTTO×JIMOTO、えなマルシェ、The RYOKAN O 開放日
tass flower	MOTTO×JIMOTO、NANAIRO MARKET、The RYOKAN O 開放日、森のひっそりマルシェ
whiffu-can	MOTTO×JIMOTO、エナクラマーケット
もりのいえ	MOTTO×JIMOTO、たべとるマルシェ、Nympha前マルシェ、あつまるしえ、SOYマルシェ、vanとヌフのツキイチ market、The RYOKAN O 開放日、Aeru Market
Cafe de 心粋	MOTTO×JIMOTO、えなマルシェ、The RYOKAN O 開放日、Aeru Market、つげち森林の市
ちこり村	MOTTO×JIMOTO、Nympha前マルシェ
The Glamping BBQ	MOTTO×JIMOTO、Aeru Market
koike drums	MOTTO×JIMOTO、つげち森林の市
koike blooms	MOTTO×JIMOTO、つげち森林の市、vanとヌフのツキイチ market
holidaypark roastworks	MOTTO×JIMOTO、斯捨離マーケット、森のひっそりマルシェ、The RYOKAN O 開放日、恵那峡レイクサイドマルシェ
one's create	無し
フカミアーム	たべとるマルシェ、vanとヌフのツキイチ market、The RYOKAN O 開放日
なかがき農園	たべとるマルシェ、あつまるしえ
831企画	あつまるしえ、SOYマルシェ、えなマルシェ、
小いた園	たべとるマルシェ、あつまるしえ、SOYマルシェ、Aeru Market
さとはち	たべとるマルシェ、えなマルシェ、Aeru Market
森園	The RYOKAN O 開放日
かめや菓子舗	Aeru Market、えなマルシェ
saisaicinnamon	斯捨離マーケット、The RYOKAN O 開放日、SOYマルシェ、森のひっそりマルシェ

場所や機会が激減する中で、規模や時間を縮小させつつ販売活動や顧客との接触機会を獲得しようとする動きが事業者を中心として起こったと考えられる。そのため、開催規模は公共主導の出店イベントほど大きくはないものの、コロナ禍でも開催可能な小規模な出店イベントが

様々な民間組織の間で注目されたと考えられる。

また選定した事業者が多く出店しているイベントにおいてはその運営者が、事業者同士の関係性構築に対して重要な役割を担っていると考えられる。各事業者は、出店状況に着目すると、複数の民間主導の小規模な出店イベントに出店していることが分かる。

#### 4. 公共空間活用と出店イベントを介した組織同士の関係性とネットワーク

本章では、中津川・恵那地域の出店イベントを介した組織同士の潜在的な関係性について分析する。

図 2 において特に出店者が多くみられた出店イベントに関し、公共主導のものと民間主導のものから各 2 つ、計 4 つを抽出した。各出店イベントの概要を表 6 に示す。抽出した 4 つの出店イベントに関して、表 3 に示したヒアリング調査の内容から組織同士の関係性を図 3 に示す。

表 6 抽出した出店イベントの概要

出店イベント基本情報	コンセプト・概要
たべとるマルシェ(恵那市・公共主導)	コンセプト:安心・安全な地元食材を生産者が直接販売するマルシェ 開催場所: 恵那中央図書館前 開催日時: 毎月第3土曜日 初開催は2018年6月23日
MOTTO×JIMOTO(中津川市・公共主導)	コンセプト:もっと"出かけたくなる"まちに。 開催場所: 中津川市都市緑地公園 開催日時: 2021-23年の3年間の社会実験 初開催は21年10月、22年4月からは毎月
The RYOKAN O 開放日(中津川市・民間主導)	コンセプト:体験をベースとした宿開放 開催場所: The RYOKAN O 開催日時: 不定期 初開催は2021年6月8日-6月13日
Aeru Market(恵那市・民間主導)	コンセプト:顧客と事業者が「出会える」「知り合える」「繋がり合える」場 開催場所: 恵那峡さざなみ公園 開催日時: 毎月第1土曜日 初開催は2021年7月3日

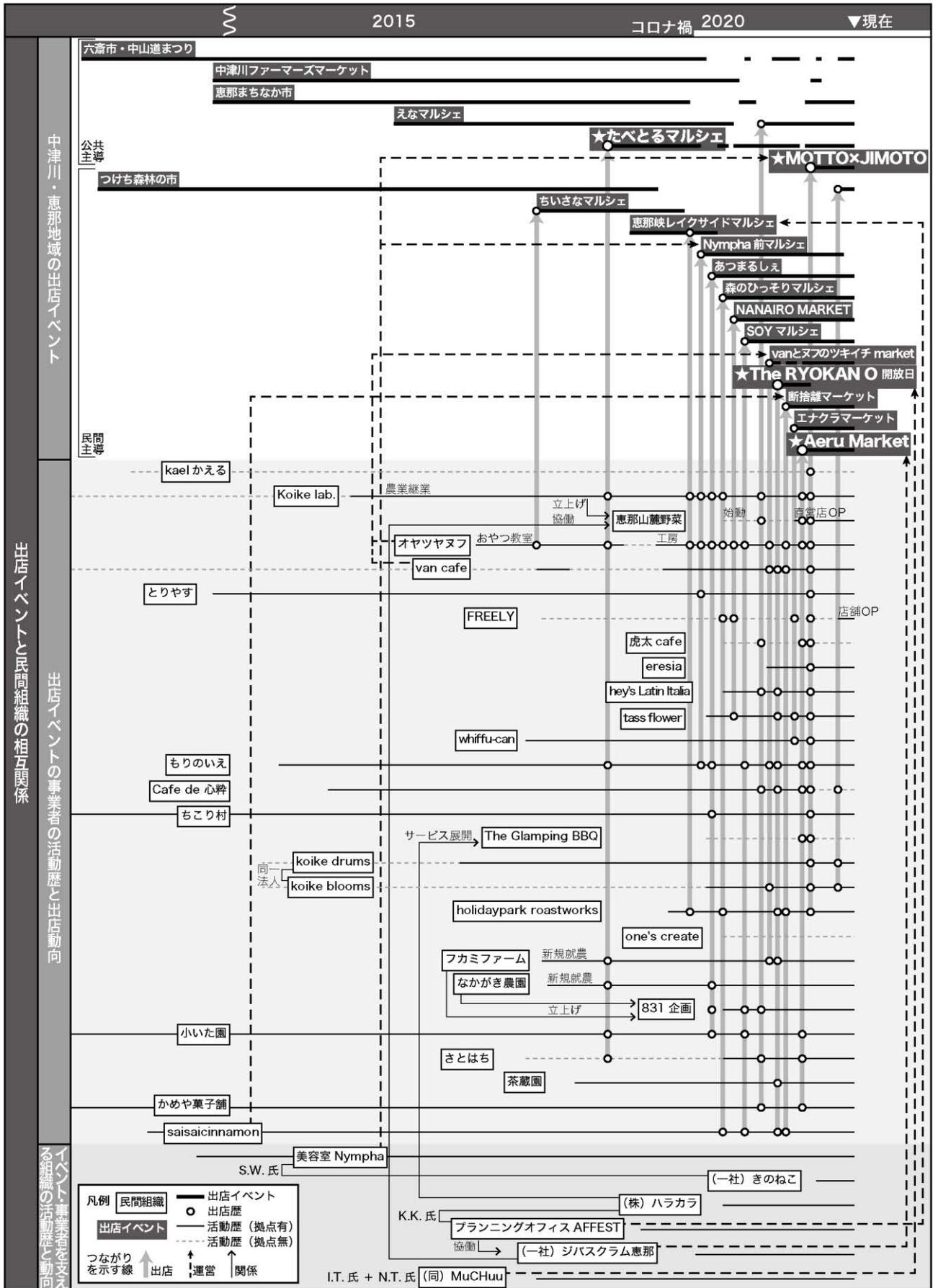


図 2 民間組織と出店イベントの相互関係の時系列変化

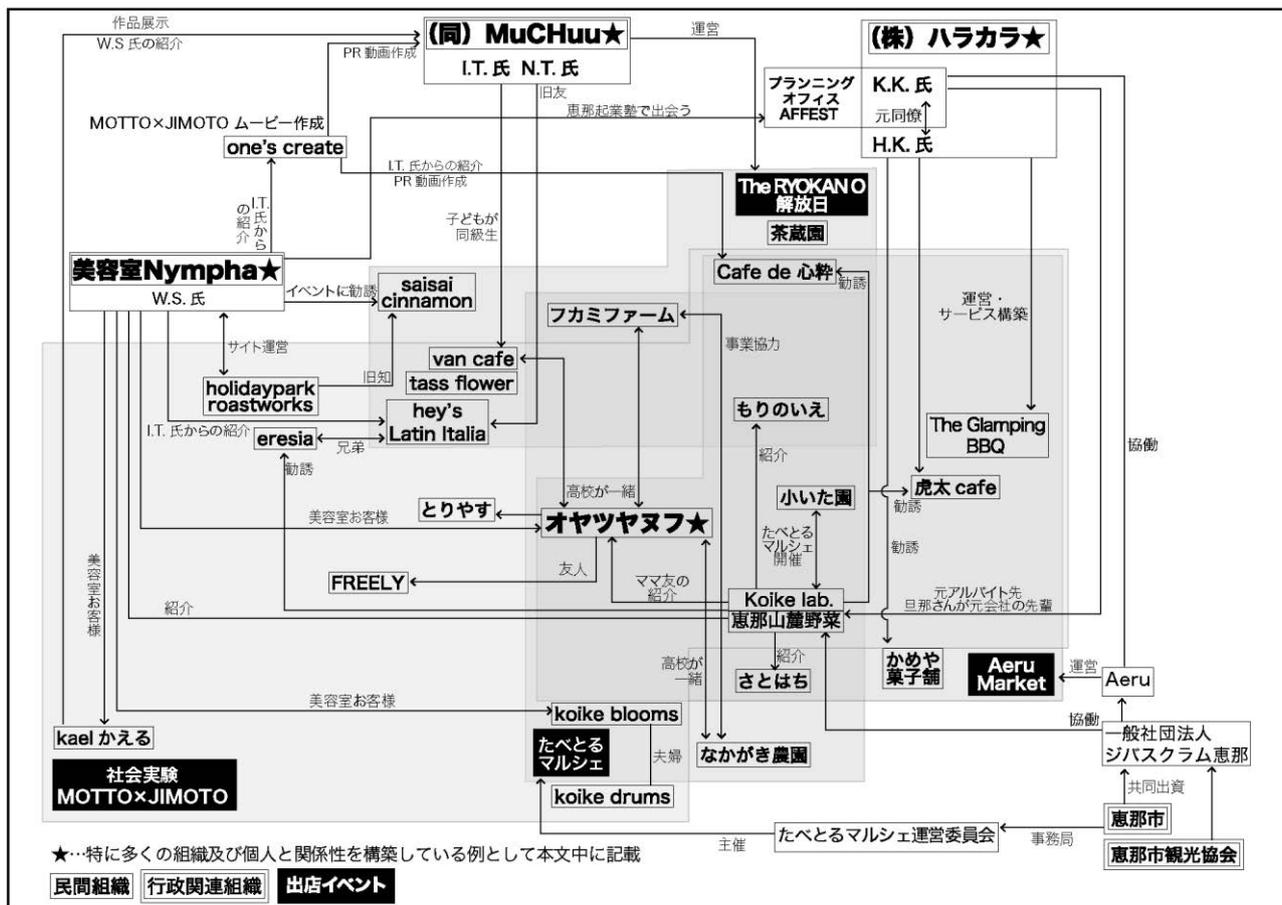


図3 抽出した出店イベントにおける組織及び個人のネットワーク

図3より、ある出店イベントへ参加することで知り合った事業者を別の異なる出店イベントに招待した例が見られた。その他に、高校の先輩・後輩であったことが出店イベントへの参加へ派生した例、子ども同士の付き合いがあったことが派生した例等が見られた。この結果から、民間組織同士の関係性構築は出店イベントの開催を契機とすることに加え、同窓生や地縁が要因となり、各々のライフステージの中で行われたと考えられる。

さらに、図3における合同会社 MuCHuu、株式会社ハラカラ等、出店イベント全体をマネジメントできるノウハウを持つ運営者がネットワークにおいて重要な役割を担っていることが読み取れた。

一見すると出店イベントに直接的な関与のない組織であっても、当該出店イベントにおける組織の関係性構築において間接的に影響を及ぼしていると考えられる。

以上のように、各イベントが公共空間を活用する民間組織同士の関係性を構築する上で相互に影響しあっている他、同窓生や地縁といった個人同士の関係性が出店イベントの派生に影響を及ぼしていると考えられる。さらに、各イベントに関わる、様々な組織が民間組織同士の日常的な関係性を支えていることが把握できた。

## 5. 個々の民間組織のライフスタイルの変化と出店イベントの相互関係

### 5.1 抽出した民間組織における相互関係

本章では、個々の民間組織のライフスタイルの変化と公共及び民間の出店イベントの相互関係を把握する。図3に示したネットワークにおいて、特に多くの組織と関係性を構築していると考えられる4組織のこれまでの活動履歴を図4-1から図4-4に示す。これにより、各々のライフスタイルの時系列変化と出店イベントの開催時期・期間の相互関係を明らかにした。

#### I) S.W.氏 (美容室 Nympha) (図4-1)

属性：運営者

S.W.氏は中津川市で美容院経営を行う傍らまちづくりに関する企画・運営を行う。美容院経営時代に表1で述べた中津川・恵那地域で活動する多数の組織と出会っており、そのネットワークを活かし現在の活動を行う。

また、自身の運営する出店イベントに対しては「質」と「価値観」を軸として出店者選定を行っている。2020年からは自身の経営する美容室の空間を利用し、定期開催のNympha前マルシェ、不定期開催の出店イベントを開催している。2021年末には地域のイベントの企画運営を

実施する一般社団法人を設立し、新たな出店イベントの実施に向け活動している。

II) Y.H. 氏 (オヤツヤヌフ) (図 4-2)

属性：事業者、運営者

Y.H. 氏は中津川市において菓子の製造・販売を行う事業者として活動している。Y.H. 氏は高校時代から S.W. 氏の美容室に通い、S.W. 氏がまちづくりの活動を始める前から継続的な関わりを持つ。2016 年頃よりおやつ教室を開始し、2018 年頃より工房を構える。S.W. 氏主催の出店イベントに参加する等の活動を行う中で、中津川・恵那地域の民間組織に出会う。自身の商品に知り合った事業者の扱う食材を取り入れる等、事業を発展させている。また、自身の出店頻度やイベントのコンセプト、他事業者の出店状況から参加を判断している。

2020 年頃から、高校の後輩であった A 氏と共に「van とヌフのツキイチ market」を開催している。A 氏は 2017 年頃から店舗での活動を行っていたが、コロナ禍により

店舗を一度閉店したが、Y.H. 氏との出店イベントを契機とし不定期での店舗活動を再開させた。

III) I.T. 氏 (合同会社 MuCHuu) (図 4-3)

属性：運営者

I.T. 氏は中津川市で旅館業や介護業を経営する。2017 年に高校時代の同級生であった N.T. 氏と共に起業し、2020 年に中津川駅前に宿泊施設「The RYOKAN 0」をオープンさせている。当初は外国人観光客や国内観光客をターゲットに宿を企画していたが、コロナ禍の影響で国内観光客にターゲットを変更した。

S.W. 氏と同様に、経営者としての人脈が新たな活動へ派生している。2021 年には自身が主催者となり「The RYOKAN 0 解放日」を開催している。また、他組織が主催している「断捨離マーケット」への場所提供も行っている。さらに、出店イベントの開催にあたり共通の価値観を持った事業者を他組織へ紹介する等も行っている。

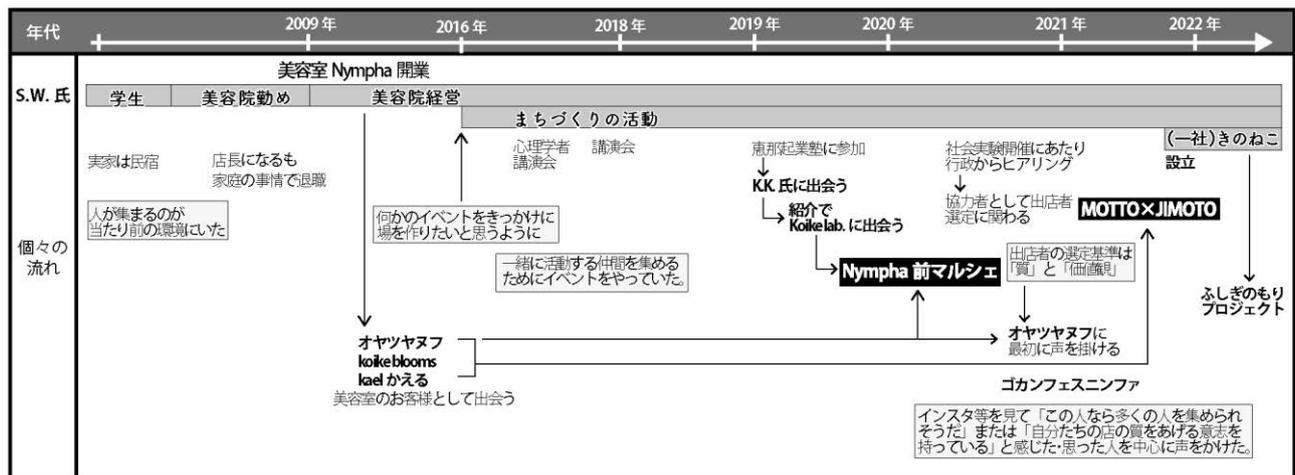


図 4-1 個々の流れと公共空間における出店イベントの相互関係 S.W. 氏

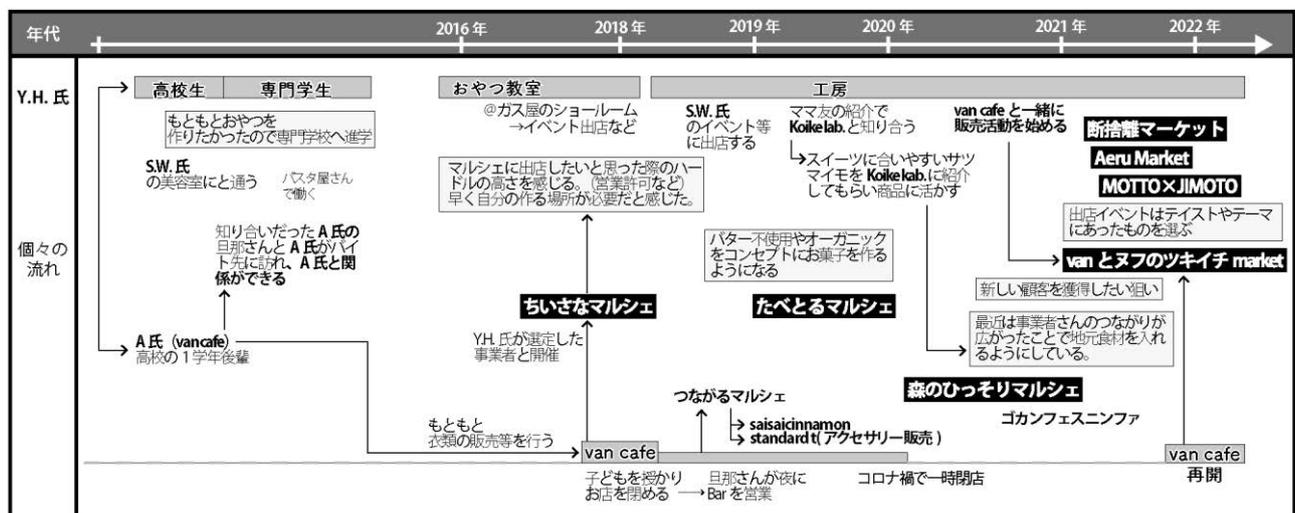


図 4-2 個々の流れと公共空間における出店イベントの相互関係 Y.H. 氏

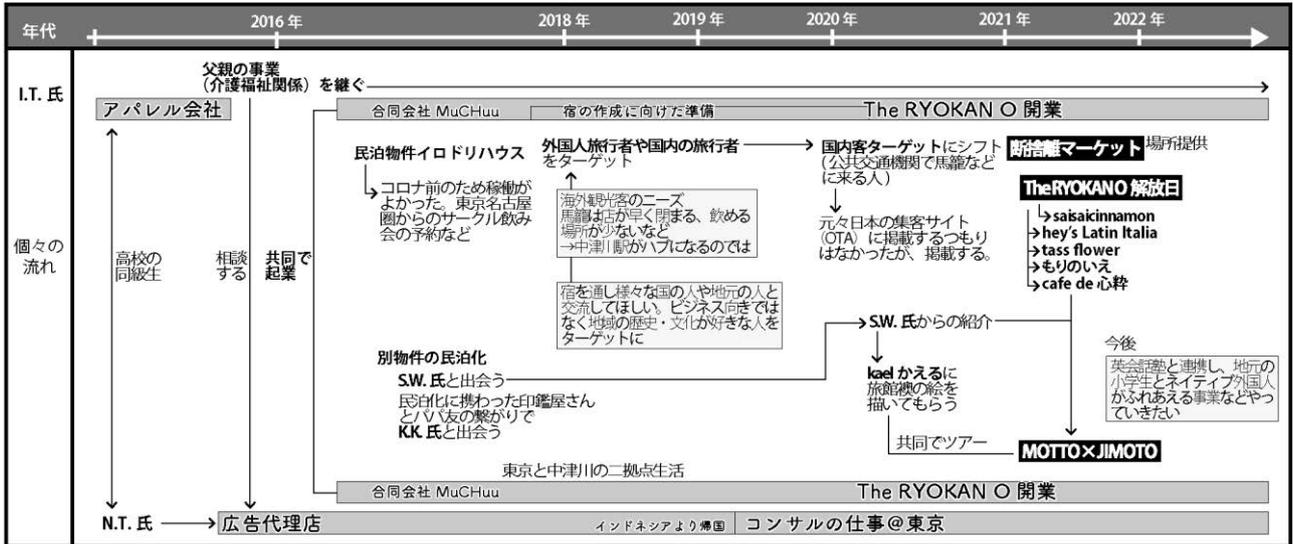


図 4-3 個々の流れと公共空間における出店イベントの相互関係 I.T. 氏

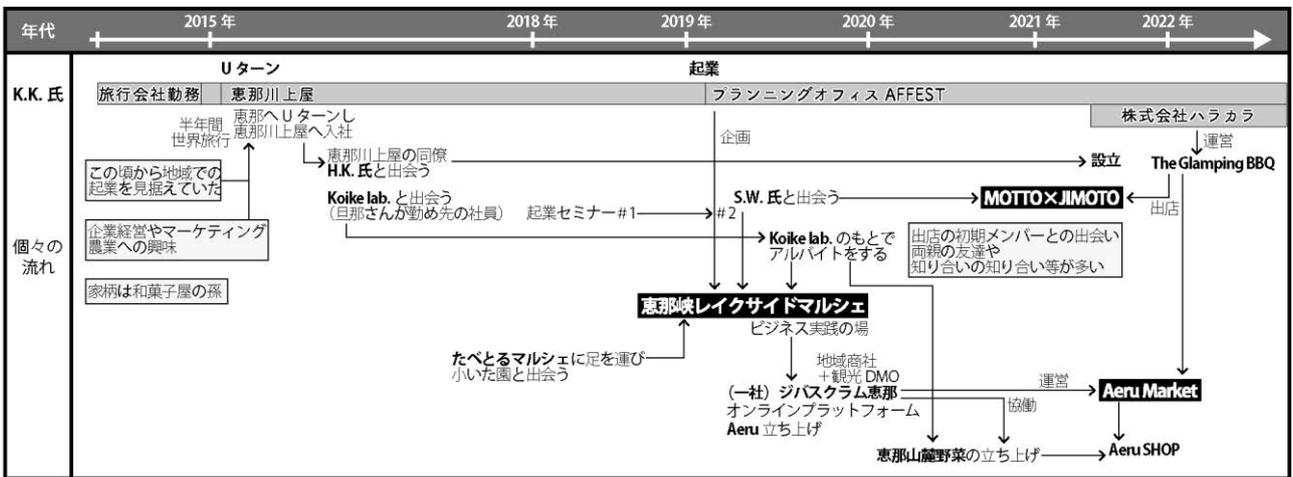


図 4-4 個々の流れと公共空間における出店イベントの相互関係 K.K. 氏

IV) K.K. 氏 (株式会社ハラカラ共同代表、プランニングオフィス AFFEST 代表) (図 4-4)

属性：事業者、運営者

K.K. 氏は複数の企業において恵那市においてイベント・アウトドア事業やコンサルティング事業を運営する。元旅行代理店勤務で 2015 年に故郷である恵那市に U ターンし、菓子店で 3 年間勤務した後、2019 年にプランニングオフィス AFFEST を設立、2020 年に菓子店時代の同僚であった H.K. 氏と共に株式会社ハラカラを設立する。

自身が企画に携わった「恵那峡レイクサイドマルシェ」はコロナ禍以降未開催である。一方、2019 年頃から株式会社ハラカラが企画・実施に携わるオンラインプラットフォーム「Aeru」の関連出店イベント「Aeru マーケット」は 2021 年から月 1 回の定期開催が行われている。

5. 2 小結

以上 4 組織の活動履歴の分析から、個人の生活スタイル

の変化や店舗経営の動きと出店イベントの相互影響について考察する。

肩書や立場の変化に伴って他組織と新しい協力関係が生まれている例 (I、IV)、コロナ禍以前から出店イベントに関係する企画・構想に携わっていたがコロナ禍以降出店イベントの実現に至った例 (I、IV)、コロナ禍やその他ライフステージの変化が出店イベントの開催に影響していると考えられる例 (II、III)、コロナ禍以前の活動や、同窓生・地縁等によってもともと構築されていた関係性を活かし出店イベントを企画・実行した例 (I、II、III、IV) が見られた。

2020 年以降店舗経営の変更、出店イベントの開催、新規事業への発展を行う等の民間主導の動きが見られるという点で、コロナ禍を含む個人の生活スタイルの変化は各民間組織の活動形態に影響を及ぼしていると考えられる。また、民間組織同士はライフステージや肩書の変化

がありつつも、関わり方を変えながら連続的に関係性を維持していることが明らかになった。さらに、その関係性を現在の活動に活かしていることが分かった。

加えて、出店イベントを企画する際に、商品の質や店舗そのものよりも人柄や価値観で事業者へのアプローチを行っている例（Ⅰ）、事業者として出店するイベントを選択する際に、自身の商品のテーマやコンセプトに沿ったものを選定している例（Ⅱ）から、民間組織間で価値観の共有が行われていることが分かった。以上のことから、同窓生や地縁、個人の日常的な活動の中で生まれた連続的な関係性が、民間組織同士のそれぞれの価値観を共有することに繋がったと考えられる。

さらに、中津川・恵那地域のネットワークの特徴として、以下の2点があげられる。第一に、旧世代から引き継いだ老舗の事業を発展させるための訴求方法の一つとして出店イベントを選択している点である（Ⅲ、Ⅳ）。特に、中津川・恵那地域の伝統的な産業である菓子製造業に関してはその傾向が確認できる（表3 かめや菓子舗、Ⅳ等）。第二に、農業や地産地消をテーマにした活動が積極的に展開されている点である。その上で自身の飲食販売事業に、関係性を持っている農業の事業者の扱う食材を取り入れる例（Ⅱ）があることから、地元食材を生かした商品展開を行う事業者と農産物の作り手との間で積極的に価値観の共有が行われていたと考えられる。

このように、民間組織同士の日常的な活動の中で続く連続的な関係性と、潜在的に行われていた価値観の共有がコロナ禍以降における民間主導の出店イベント開催の活発化に影響を及ぼしていると考えられる。コロナ禍では公共主導の出店イベントの中止・店舗経営形態の変更等の状況が生じた。そのような状況下で、自身の価値観に沿った販売活動が行える、つまり自己実現が可能な出店イベントが民間主導で活発化したと考えられる。

## 6. まとめ

本研究では、中津川・恵那地域で活動する民間組織を対象とし、ネットワークと出店イベントの相互影響を明らかにした。さらに、個々の民間組織の日常的な活動に着目することで、コロナ禍以降におけるライフスタイルの変化と出店イベントの相互関係を明らかにした。

調査の結果、ネットワークと公共空間活用及び出店イベントの相互関係において以下の2点が明らかになった。

1) 主催者の異なる多様な出店イベントがネットワークを構築・発展させる側面がある。出店イベントへの参加

によって生まれた関係性がその後の各民間組織の活動展開に影響を及ぼしている。

2) 出店イベントへの参加により構築される関係性だけではない、各民間組織の日常的な活動の中で構築された関係性や同窓生・地縁による関係性が小規模かつ民間主導の出店イベントにおいて重要な役割を担っている。

さらに、民間組織同士がライフステージの変化に応じて連続的な関係性を構築する中で、価値観の共有が積極的かつ潜在的に行われたことが、コロナ禍以降の民間主導の出店イベントの活発化に影響を及ぼしていると考えられる。公共主導の出店イベントと比較し、小規模かつ民間主導の出店イベントは各事業者の価値観に沿った販売活動を行いやすい。このため、コロナ禍以降の生活スタイルの変化に伴い民間主導の出店イベントの開催が活発化したと推測される。

このように、個人の生活スタイルの変化と出店イベントの開催が密接に関係している事に加え、民間組織の密接なネットワークが構築される過程で価値観の共有が行われていたことが中津川・恵那地域のコロナ禍以降における民間主導の公共空間活用を加速させたことと示唆される。

### 【謝辞】

本研究を進めるにあたり、アンケート・ヒアリング調査にご協力いただいた中津川市役所の皆様、美容室 Nympha S.W. 氏、株式会社ハラカラ K.K. 氏、合同会社 MuChuu I.T. 氏、N.T. 氏、オヤツヤヌフ Y.H. 氏、他中津川市・恵那市の事業者の皆様に対して心から感謝申し上げます。

### 【参考文献】

- 阿部亮吾, 駒木伸比古, 近藤暁夫, 久保倫子, 林琢也, 田中健作, 「名古屋大都市圏をモデルにした持続可能な地域政策のための基礎研究 -人口減少時代のコンパクト都市圏モデルを目指して-」, 平成26年度国土政策関係研究支援事業 研究成果報告書, 2015年
- 中津川市, 「中津川市中心市街地活性化基本計画 第2期計画 (R3.3.12 変更版)」, 2021年
- リニア都市政策部都市建築課, 「公共空間を活用した活用社会実験に取り組んでいます」, 中津川市ホームページ, 2022.8.31, <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/soshikikarasagasu/toshikenchikuk a/3/2/11855.html>, (アクセス日:2022.09.03)
- 恵那市, 「恵那市都市計画マスタープラン」, 2022年
- 丹羽由佳理, 園田康貴, 御手洗潤, 保井美樹, 長谷川隆三, 小林重敬, エリアマネジメント組織の団体属性と課題に関する考察 -全国エリアマネジメントネットワークの会員アンケート調査に基づいて-, 日本都市計画学会 都市計画論文, Vol.52 No.3, pp.508-513, 2017
- 泉山聖威, 秋山弘樹, 小林正美, 都心部における「民有地の公共空間」の活用マネジメントに関する研究 -『東京のしゃれた街並みづくり推進条例』・まちづくり団体登録制度の調査・分析を通して-, 日本建築学会計画系論文集, Vol.80 No.710, pp.915-922, 2015
- 泉山聖威, 中島伸, 小泉秀樹, 公共空間活用における「参加型社会実験手法」としての「神田警察通り賑わい社会実験2017」の成果と課題, 日本都市計画学会都市計画論文集, Vol.53 No.3, pp.1223-1230, 2018
- 藤本和男, 嘉名光市, 赤崎弘平, 公共空間を利用した外部地先利用空間の利用実態と評価に関する研究 -広島市京橋川のケーススタディ-, 日本都市計画学会 都市計画論文集, vol.46 No.1, pp.63-68, 2011